

## 多用途多端子直流送電システムの基盤技術開発

## 【研究開発項目4】

## ケーブル防護管取付等の工法開発及び新型ケーブル敷設船等の基盤技術開発

## 事業の目的・概要

- 本事業では、洋上や離島を活用した風力発電の導入拡大に向けて、多端子直流送電システムの開発に取り組んでいる。
- 今回採択したテーマでは、北海道など風力発電の適地から、電力の大需要地への送電方法として有望な海底直流送電のケーブル敷設について、その防護工法や敷設船などの技術開発を実施し、系統増強にかかる工期短縮やコスト低減を目指す。

## 実施体制

※太字：幹事企業

**住友電気工業株式会社**、古河電気工業株式会社、  
日本郵船株式会社、株式会社商船三井

## 事業期間・規模など

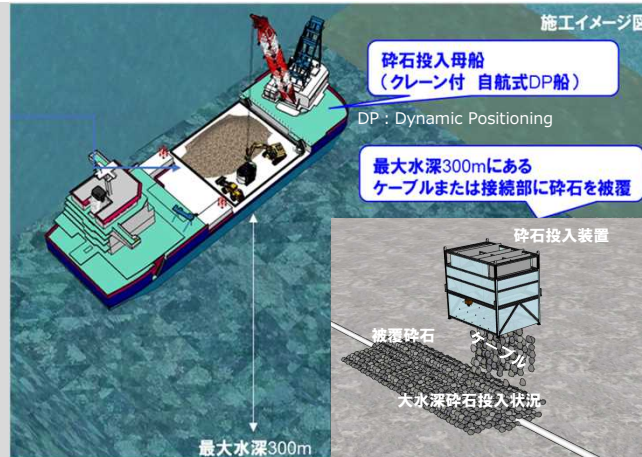
- 2023年度～2025年度（3年間）
- 委託事業：約10億円（2023年度）

## 事業イメージ

テーマ案		担当
1. ケーブル防護管取付等工法開発	① 防護工法開発	防護管工法の開発 古河電気
	② 長距離ケーブル監視技術開発	住友電気
	③ 海洋技術検証	住友電気、古河電気
2. ケーブル敷設船等の基盤技術開発	① 敷設船開発	日本郵船、住友電気
	② 接続船/埋設船開発	商船三井、古河電気
3. 共通基盤技術調査等	① 試験方法検討	古河電気、住友電気
	② 海外調査	住友電気



1. ①従来の敷設船上でのケーブル防護管取付例  
(本事業で自動化・高速化の開発を予定)



1. ①大水深砕石投入のイメージ  
(本事業で洋上接続部などへの防護工法を開発予定)



2. ①新型ケーブル敷設船のイメージ図